

記者発表資料



平成 30 年 8 月 29 日
横浜市立大学医学部同窓会 倶進会
時事通信社

横浜市立大学医学部同窓会倶進会と時事通信社が包括連携

ー地域医療発展に一層の貢献目指すー

横浜市立大学医学部医学科同窓会倶進会（以下、倶進会 会長 遠山慎一）と時事通信社（代表取締役社長 大室真生）は、より正確な医療情報の発信、地域医療活動の周知などを目的に、「包括連携協定」を締結しました。

倶進会は、神奈川県下唯一の公立大学医学部の同窓会組織として、長年、地域医療に貢献してきました。今後、活動をさらに発展させるために国内外にニュースを発信し続ける時事通信社と連携して、より多くの情報をより早く、より正確に伝えていくことに取り組めます。

時事通信社は一昨年 11 月に立ち上げた医療サイト「時事メディカル」を中心とした医療系コンテンツの充実を図るとともに、長年培った報道、調査事業等を組み合わせ、有機的な発信を創造します。また、倶進会に所属する会員を管理するデータベースを「時事メディカル」内に移設し、会費収納代行システム、SNS 連携など新機能を搭載することで、より安全で効率的な管理を目指します。

【予定されている連携内容】

○教育や研究、文化、地域医療への貢献

倶進会が推し進める研究の成果や、地域での文化講座などの取り組みを広く伝播する。

○正しい医療情報の発信

旬の医療問題について倶進会会員の医師にアンケート、調査結果を時事通信メディアを使って配信、現場の意見をより正確に発信する。

○災害時における緊急情報の提供

災害時に時事通信が入手した情報を素早く提供することで、倶進会会員医師の医療活動をフォローする。

○交流を含めた人材育成などの分野で協力

「時事メディカル」内のコミュニケーションツールを活用し、会員データを効率的かつ安全に管理。事務局機能の強化および人材育成を図るとともに、将来的な人事交流も視野に入れる。